

コロナでも社会貢献

平和住宅建設
と平和会

関西盲導犬協会に寄付



宇治市大久保町北ノ山の平和住宅建設(株) (高木健次代表取締役)と協力業者で結成する平和会(岸畑典行会長)が15日、関西盲導犬協会に善意20万円を寄付した。

同社では毎年この時期にチャリティ事業としてゴルフコンパ大会を開催し、盲導犬育成のための支援活動を行っているが、今年は新型コロナウイルス感染症防止のため、やむ無く大会を中止。それでも寄付は続けようと、盲導犬育成を通じた社会貢献の趣旨に賛同した有志による善意を託した。

この日、同社に関西盲導犬協会の古橋博昭常務理事が盲導犬とともに訪れ、高木社長から「盲導犬育成に役立てください」と寄付目録が手渡された。また盲導犬協会からは

「長年にわたるご支援、ご協力に感謝申し上げます」と感謝状が贈られた。

【写真―関西盲導犬協会に善意を託す高木社長(右から2人目)】

2020年10月16日(金)

洛タイ新報